



平成27年度地域防災訓練の様子

9月1日は  
「家庭防災の日」



帯広市では、災害に強く安全・安心なまちを目指して、平成26年2月に「帯広市 防災・減災指針」を策定しました。

指針では、過去の災害を教訓に、災害を未然に防ぐ「防災」に加え、災害による被害を最小限に抑える「減災」の視点をより重視し、自らの行動で自分の身を守る「自助」、地域や近所の人々が互いに助

**帯広市 防災・減災指針の策定**



近年、東日本大震災をはじめ、関東・東北豪雨、熊本地震など、日本各地で大規模な自然災害に見舞われています。

私たちは、自然の猛威を目の当たりにする中で、自然災害に対応することの難しさを知り、「防災」に加えて「減災」の取り組みの重要性を改めて認識しました。

私たちは、自然の猛威を目の当たりにする中で、自然災害に対応することの難しさを知り、「防災」に加えて「減災」の取り組みの重要性を改めて認識しました。

**問い合わせ**

総務課（市庁舎5階、☎65・4103）

大規模災害に襲われたときに大切なのは「自分の命は自分で守る」、そして「家族や住民同士が協力する」ことです。



**家族や地域で防災について話し合おう**

近年、東日本大震災をはじめ、関東・東北豪雨、熊本地震など、日本各地で大規模な自然災害に見舞われています。

私たちは、自然の猛威を目の当たりにする中で、自然災害に対応することの難しさを知り、「防災」に加えて「減災」の取り組みの重要性を改めて認識しました。

大正12年9月1日に発生した関東大震災にちなみ、国はこの日を「防災の日」と定めています。

これに倣い、市の指針では、防災・減災について考える機会を増やすため、毎年9月1日を「家庭防災の日」、毎月1日を「家族で防災について話し合う日」としています。月に一度は家族などで防災について話し合い、日頃から災害に備えましょう。

次頁では、皆さんに取り組んでほしい「自助」と「共助」について詳しく紹介します。

**日頃から災害に備える**



**「帯広市 防災・減災指針」の構成**

**1 防災意識の向上 (自助など)**

- 家庭、地域における意識啓発
- 防災訓練、出前講座の実施
- 防災リーダーの育成
- 子どもへの防災教育

**自助、共助、公助の調和 市民、地域、行政の連携**

**2 防災体制の充実 (共助など)**

- 自主防災組織の結成・育成
- 連合町内会を中心とした連携協力体制
- 避難所における管理運営
- 要援護者の支援体制づくり
- 福祉避難所の確保
- 災害情報の提供
- 備蓄食料、資器材の確保
- 企業などとの防災協定

**3 災害に強い都市づくり (公助など)**

- 公共施設の耐震化と安全対策の強化
- 民間建築物の耐震化促進
- 道路、橋梁などの長寿命化
- 治水対策の促進

**データで知る帯広**

**7月末の人口と世帯数**

人口 ▶ 168,277人 (前月比-4人)  
 男 ▶ 80,230人  
 女 ▶ 88,047人  
 世帯 ▶ 86,490世帯 (前月比±0世帯)

**7月の火災発生件数**

3件 (前月比+2件)

**7月の家庭ごみ排出量**

ごみ量 2,312t (前年同月比+1t)  
 資源ごみ(Sの日)量 580t (前年同月比-52t)

**今月の紙面**

「とがちマルシェ」でおいしさ再発見…… 7



十勝の豊かな食材を使った料理や加工品が楽しめる「とがちマルシェ」をJR帯広駅周辺で開催します。

秋はヒグマ出没注意！…………… 4

暮らしを考える…………… 5

高齢者の肺炎を予防…………… 6



### 一人ひとりの取り組み 自分の命を守る



突然の災害に襲われたとき、まずすべきことは、自分の命を守る「自助」です。

自助は、全ての防災活動の基本です。自分の命を守ることで、次に家族や友人、隣人などを「救助する人」になれます。

### 災害時の行動を確認

東日本大震災など過去の大災害では、災害発生直後に交通機関がまひし、電話もつながらず、家族同士の連絡も取れなくなるなど、大きな混乱を招いた事例もあります。

いざというときのために、家族などで、災害時に取るべき行動について確認しましょう。(表1)

### 避難所の確認

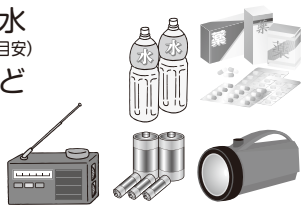
自宅が被災したときは、避難所などの安全な場所に避難して生活を送ることになります。

表1 家族で確認しておく項目

- ◎家族間の連絡方法・安否確認方法
- ◎家族がそれぞれ別の場所にいるときの集合場所
- ◎非常持ち出し品の中身と置き場所
- ◎懐中電灯や小型ラジオなど、防災品の保管場所・使用方法
- ◎一人での避難が困難な家族がいる場合の支援方法
- ◎ペットを飼っている場合の避難方法
- ◎子どもだけにいる場合の対応方法
- ◎けがをしたときの対処方法・医療機関の受診先

表2 非常持ち出し品リスト(※1次持ち出し品)

- ペットボトル飲料水 (500ml×6本、大人1人当たりの目安)
  - 常備薬・持病薬など
  - 携帯ラジオ
  - 懐中電灯
  - 電池
  - 非常用食料
  - ローソク・ライター
  - 万能ハサミ(十徳ナイフ)
  - 軍手・手袋
  - ロープ
  - 毛抜き
  - 消毒薬
  - 脱脂綿
  - ガーゼ
  - 絆創膏
  - 包帯
  - サバイバルブランケット
  - 三角巾
  - マスク
  - レジャーシート
  - 簡易トイレ
  - タオル
  - ポリ袋
  - トイレットペーパー
  - ウエットティッシュ
  - ガムテープ
  - 油性マジック
  - 筆記用具
  - 現金(10円玉)  
(公衆電話用)
- 下記については個々の事情によって必要性が異なります
- 貴重品類
  - 女性用品
  - 高齢者用品
  - 赤ちゃん用品



帯広市では、地区ごとに学校などの公共施設を中心とした「指定避難所」を52カ所定めています。

自宅はもちろん、職場や学校などにいる時に、災害が発生した場合の避難所がどこなのか、確認しておくことが大切です。

指定避難所は、帯広市が配布している「わが家の防災チェック」で確認できます。



指定避難所を確認

### 地域の取り組み 地域で助け合う



大災害が発生し混乱した状態では、公助には限界があるため、地域ぐるみで助け合う「共助」が欠かせません。

町内会やサークルの活動など、地域での日頃のつながりが、災害時の安否確認やけが人の救護、初期消火などに大きな力を発揮し、効果的に実施することができます。

### 自主防災組織を支援します

※「わが家の防災チェック」は今年10月に、「おびひろ暮らしと防災ガイド」としてリニューアルし、全戸配布する予定です。

### 非常持ち出し品の準備

大災害時には電気、水道、ガスなどが使えなくなるばかりでなく、食料や生活必需品さえ手に入りにくくなります。

### 地域の防災マップを作成

帯広市は、都市部や農村部、土地の高低、川のある地域や幹線道路のある地域など、さまざまな地域特性があり、災害による影響も

普段から食料や飲料水など、必要なものを備蓄して、いざというときにはすぐに持ち出せるように、リュックサックに詰めて備えておきましょう。(表2)



生活エリアを点検し情報を共有

大きく異なります。地域の特性に応じた対策を進めることで、より効果的な防災体制をつくることができます。

### 自主防災組織では、自分たちの住む地域を実際に点検して回り、

地域独自の防災マップを作成している事例もあります。自らが住む地域を改めて見つめ直し、隠れた危険など気付いた点を共有しましょう。

### 日頃からの情報共有が大切

災害の発生を想定して、地域住民同士であらゆる情報共有をしておくことが大切です。災害発生直後には、地域ごと

安否確認や早期の救助活動を行うことができます。また、避難所へ向かう際にも、一人での行動は万が一事故が起きた時などの危険が大きいため、町内会など集団で移動することで安全を確保できます。

避難経路も重要です。近道が必ずしも良いとは限りません。避難経路を考える時は、次の3つを参考にしてください。

- ① 大きな道を選ぶ
- ② 知っている道を選ぶ
- ③ 危険箇所はあらかじめチェックしておく

### 防災出前講座を 活用ください



市では防災に関する知識を広めるため、町内会や団体などの依頼に応じて、市職員などが訪問する防災出前講座を行っています。

講座では、地震や水害への備えや防災グッズなど、防災全般について説明するほか、実際の災害を想定して疑似体験しながら防災について考える「防災ゲーム」を行います。また、AEDを使った心肺蘇生法の救急救命講習など、さまざまなメニューを用意しています。ぜひ活用してください。



指定避難所に備える自主防災倉庫

日頃から倉庫の場所などを確認しておきましょう。

### 防災活動に取り組む地域の声



### 地域の信頼関係を築くことで安全につなげたい

太陽町内会  
会長  
細野 馨さん

災害が起きたとき、まずは私たち地域住民で事態に対応しなければなりません。一人ひとりが防災意識を持つことはもちろん、何よりも大切なのは住民同士の信頼関係だと考えています。

私たちの町内会では、自主防災組織をつくり、毎年、地域の防災訓練を行っています。こうした体験を通して、住民同士がお互いを知り、世代を超えてつないでいくことで、いざというときにも声を掛け合える関係が生まれています。

小さなことでも良いので、まずは地域で防災について考え、行動を起こすことが防災対策の第一歩だと思います。



太陽町内会避難訓練の様子(7月31日実施)

※1次持ち出し品とは 避難時にすぐに持ち出すべき必要最小限の備えで、被災時・非常時の最初の1日をしのぐための物品です。避難生活が長期化したときのために、3日間程度をしのぐための「2次持ち出し品」を備えておくことも大切です。



# 国民健康保険が使える施術と使えない施術

## 整骨院・接骨院、はり・きゅう・マッサージのかかり方

施術にかかる費用は、内容に応じて国民健康保険などの保険料から支払われます。健康保険が使える範囲を、柔道整復師やはり・きゅう・マッサージ師などによく相談して、適切に受診しましょう。

問い合わせ 国保課 (市庁舎1階、☎65・4138)

病院を受診するときに、健康保険が使えない医療があるように、

整骨院・接骨院、はり・きゅう・マッサージなどの施術を受ける場合も、健康保険が使える場合と使えない場合があります。

なお、健康保険が使えない場合でも、全額自己負担であれば施術を受けられます。

### 整骨院・接骨院

柔道整復師が、打撲、捻挫、挫傷、骨折、脱臼などの急なけがを、  
整復や固定などをして治療します。

#### ○健康保険が使える場合

- ・捻挫(くじく・ひねる)
- ・打撲(打ち身)
- ・挫傷(肉離れなど)
- ・骨折、脱臼(応急手当を除いて、医師の同意が必要)
- ・骨、筋肉・関節のけがや痛みで、その原因がはっきりしているとき



#### 《負傷例》

- ・転んで膝を打ったり、足首をひねったりして痛みがでたとき
- ・加齢に伴って指や膝の関節が変形したり、背中が曲がったりして、わずかな動作で関節、筋肉などを痛めたとき

#### ×健康保険が使えない場合

- ・疲労性、慢性的な要因からくる肩こりなど
- ・脳疾患後遺症などの慢性病や、症状の改善がみられない長期の施術

病院、診療所などで同じけがなどを治療中の場合



・ 仕事や通勤途上でのけがで、労災保険が適用となるもの  
・ 高齢者施設、介護施設、部活などの練習場、スポーツ団体の競技場所など、施術所以外(往診を除く※)で施術を受けた場合

※下肢の骨折(不全骨折)、関節脱臼(いずれも医師の同意が必要)、

下肢のけがなど、通院が困難な場合の自宅などでの往診は、健康保険が使えます。

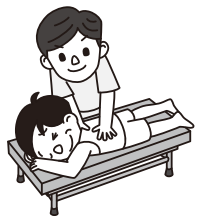
### はり・きゅう

はり師が金属の細い針を経穴(ツボ)に刺したり、きゅう師がもぐさを燃やしてツボに刺激を加えて病気を治療します。

#### ○健康保険が使える場合

次の病気や症状で、医師が必要と認める場合。なお、医師の同意書または診断書を施術所に提出する必要があります。

- ・神経痛
- ・リウマチ
- ・頸腕症候群
- ・五十肩
- ・腰痛症
- ・頸椎捻挫後遺症



慢性的な痛みで、神経痛・リウマチなどと同じ範囲と認められる疾患や、変形性膝関節症を含む関節症も、健康保険が使える場合があります。詳細は医師に相談してください。  
×健康保険が使えない場合  
・前記疾患以外のもの

・ 病院、診療所などで同じ疾患を治療中の場合  
・ 医師の同意がない場合

### マッサージ

マッサージ師などが手を使って血行をよくして治療します。

#### ○健康保険が使える場合

次のような症状で、医師が必要と認める場合。なお、医師の同意書または診断書を施術所に提出する必要があります。

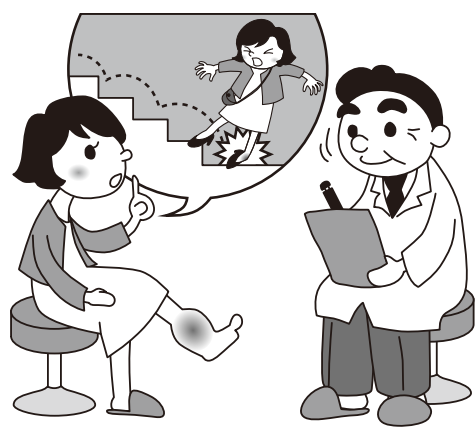
- ・筋肉がまひして自由に動かせない症状(筋まひ)
- ・関節が硬くて動きが悪い症状(関節拘縮)

#### ×健康保険が使えない場合

- ・医療上、マッサージを必要とする症例以外のもの
- ・疲労回復や癒しを目的とするもの
- ・医師の同意がない場合

### 施術を受けるときの注意事項

負傷原因をはっきり伝えましょう  
いつ、どこで、何を、どんな症状があるのかを、正確に伝えて、健康保険が使えるのかを相談しましょう。



「療養費支給申請書」は患者本人が署名、押印を

施術にかかる費用は本来、患者が費用の全額を支払った後、自ら保険者へ請求して払い戻しを受ける「償還払い」が原則ですが、患者が自己負担分を柔道整復師などに支払い、柔道整復師などが患者に代わって残りの費用を保険者に請求する「受領委任」という方法が認められています。

このため、多くの整骨院などでは、病院や診療所にかかったときと同じように、自己負担分のみ支払うことで、施術を受けることができます。

受領委任は、柔道整復師などが患者に代わって保険請求を行うため、施術を受けたときは、「療養費支給申請書」に、原則患者本人が自筆で署名してください。

手首の負傷などにより自筆できない場合は代筆でも可能ですが、その場合は押印が必要で、  
施術が長期にわたる場合は、医師の診断を受けましょう

長期の施術を受けても改善がみられない場合には、内科的要因も考えられるので、医師の診断を受けましょう。



### 受診内容などの照会にご協力ください

施術にかかる費用の適正化を図るため、柔道整復・はり・きゅう・マッサージに係る「療養費支給申請書」の内容点検と施術内容の照会を行います。

施術を受けた皆さんに、施術日や施術内容などをお聞きする場合があります。照会の手紙が届いたら、回答にご協力をお願いします。

※皆さんからの回答結果は、この目的以外に利用することはありません。



#### ○治療記録・領収書は必ず保管してください○

整骨院・接骨院などで治療したときは、負傷部位、施術内容、施術年月日を記録して、領収書を保管してください。



# 市民の皆さんの まちづくりの実感

## 8割以上が「住みやすい」と回答

今年の5月に実施した「市民まちづくりアンケート」の集計結果をお知らせします。

問い合わせ 企画課（市庁舎5階、☎65・4105）

市では、市民の皆さんが帯広市の住みごこちやまちづくりについての住みやすさやまちづくりに関する実感を持つているかを調査するため、毎年「市民まちづくりアンケート」を実施しています。今年度は無作為に抽出した20歳以上の市民4500人のうち、2369人（回収率52・6パーセント）から回答がありました。

「住みやすさ」と「定住意識」は今年も高水準

帯広市は「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した人を合わせると84・5パーセントでした。（表1）アンケートを開始した平成22年度以降、7年連続で8割を超えていて、多くの人が帯広市を住みやすいと感じています。

表1 住みごこちについて

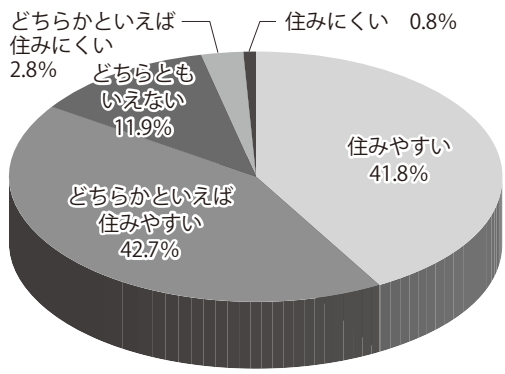
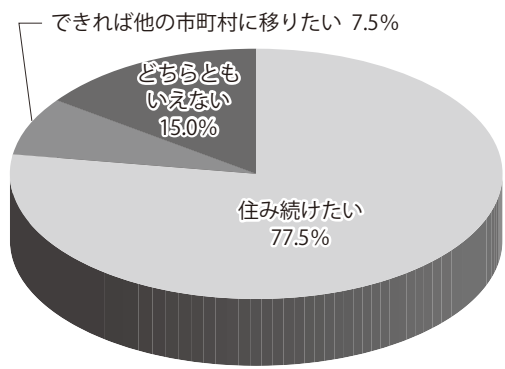


表2 定住意識について



皆さんが感じるまちづくりの実感度

まちづくりの実感度に関する50項目の質問のうち、おいしい水道水や安全で良質な農畜産物、消防・救急活動については、昨年を引き続き上位にあります。その他、墓地や火葬場、下水道の整備・管理などに関する項目で、実感度が高くなっています。一方で、中心市街地の活性化や高度な教育を受けるための環境づくり、商店や商店街に関する項目などは、実感度が低くなっています。（表3）

表3 まちづくりの実感度について

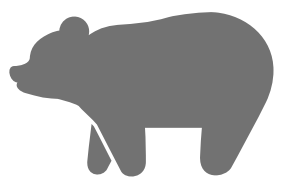
順位	実感度が高い項目（上位5つ）
1	おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる
2	安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある
3	消火活動や救急活動が迅速に行われている
4	墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている
5	生活廃水や雨水が適切に処理されている

順位	実感度が低い項目（下位5つ）
46	日常生活において、交通事故に遭うことなく安心して暮らせる
47	幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる
48	商店や商店街に活気がある
49	大学や専修学校など、高度な教育を受けることができる環境が整っている
50	中心市街地に、魅力とにぎわいがある

アンケート結果は今後のまちづくりに活用します

アンケートでは、自由記載欄にまちづくりに関するさまざまな意見などもいただきました。集計した実感度や、いただいた意見は、今後のまちづくりの参考としていきます。

なお、アンケートの詳細な集計結果は、市庁舎や各コミセン、川西・大正支所でご覧いただけます。か、市ホームページにも掲載しています。



# 秋はヒグマ出没 注意！

## 八千代・拓成・岩内方面に多く生息

問い合わせ 農村振興課（市庁舎7階、☎65・4173）

秋は、キノコ採りなどで野山に立ち入る人も多く、ヒグマとの接触事故が多くなるシーズンです。野山はヒグマの生息域であるという心構えを持ち、新聞やテレビ、市ホームページ、注意看板などでヒグマの情報を確認しましょう。

ヒグマと出会わないために

ヒグマは本来、極力人間を避けて行動する動物です。早朝や夕方に比較的活発に歩き回ります。また、聴力に優れ音に敏感で、嗅覚も非常に発達しています。日の出、日没などの薄暗い時間帯は野山に立ち入らない。単独ではなく複数で行動する。鈴やラジオなど音の出るものを持ち、大声で話すなど、人間の存在をヒグマに知らせる。エゾシカなどの死骸を見つけたら速やかにその場を離れる。ヒグマのふんや足跡、臭いなど異変を感じたら直ちに引き返す。ヒグマを引き寄せないために

人間が出す生ごみはヒグマにとってごちそうです。一度その味を覚えたヒグマは餌を求めて人里に現れるようになり、人間との接触事故を引き起こす原因になります。おいしい強い食べ物は持ち込まない

### 特に注意が必要な地域

八千代・拓成・岩内方面では、ヒグマの生息が確認されています。この周辺を流れる戸蔦別川でも注意が必要です。目撃情報も多い地域なので、キノコ採りや釣りをする際は、遭遇する可能性があることを十分に認識してください。



# 暮らしを考える

## みんなの消費生活展

イベントを通して、食や暮らしの安全・安心、地域環境などを考えます。

問い合わせ 安心安全推進課（市庁舎3階、☎65・4132）

みんなの消費生活展は、子どもも大人も楽しみながら暮らしについて学べる催しが盛りだくさんです。いずれも参加は無料です。

日時 9月30日（金）、10時～17時、10月1日（土）、10時～16時  
場所 とちプラザ（西4南13）  
主な催し  
▽新聞紙でエコバッグづくり、ネコキャップづくりの実演



ネコキャップづくりに挑戦

- ▽古布回収コーナー
- ▽消費者トラブル・悪質商法・特殊詐欺被害の予防啓発ビデオの上映とクイズ
- ▽消費者川柳かるた大会
- ▽炭酸水をつくろう！糖度調べ
- ▽大根料理の試食
- ▽便利小物の展示
- ▽パネル展示（帯広消費者協会の取り組み紹介、消費者川柳受賞作品、消費生活アドバイザーセンターに寄せられた相談事例、乳がんの



季節の野菜をゲット



介護相談コーナー

▽保健師による乳がん自己検診法コーナー（10月1日（土）、10時～12時）  
▽地場産野菜が当たるスタンプラリー

## 消費者講演会

宮森芳子氏（一般財団法人省エネルギーセンター 家庭の省エネルギースパート）による、「環境にやさしい暮らし方」を省エネでスマートライフ」と題した講演会。

環境省の「うちエコ診断士」や北海道の「地球温暖化防止活動推進員」としての経験をもとに、毎日の暮らしの中で無理なくできる省エネを分かりやすく話します。  
日時 9月30日（金）、13時30分～15時（開場13時）  
定員 先着150人  
申し込み 9月23日（金）までに、電話で安心安全推進課へ。

## 魚のさばき方教室

プロの魚屋さんから、ホッケ、サンマ、イカのさばき方を学びます。さばいた魚は持ち帰れます。対象 20～40歳代の昨年受講していない人。初心者優先  
日時 10月1日（土）、14時～16時30分  
定員 先着24人  
申し込み 9月1日（木）～23日（金）までに、電話で安心安全推進課へ。



魚のさばき方を実践

# リサイクルを 楽しむ

## 秋のリサイクルまつり

9月18日～10月17日は、秋のごみ減量・資源化促進月間です。その皮切りに、不用品をリサイクルして楽しむイベントを開催します。

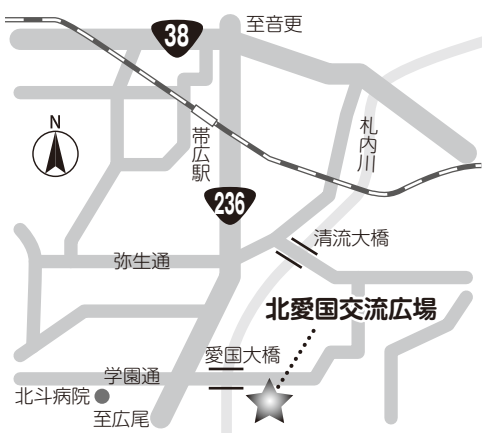
問い合わせ 清掃事業課（西24北4、☎37・2311）

秋のリサイクルまつりは、フリーマーケットやごみ分別クイズなどを通して、ごみの減量やリサイクルを楽しむイベントです。参加は無料です。当日会場へ直接お越しください。

日時 9月18日（日）、9時～12時（雨天中止）  
場所 北愛国交流広場（愛国町10）



フリーマーケットでリサイクル



## 不用品をリサイクルする

▼青空フリーマーケット  
家庭で不用になった衣類・日用品などのフリーマーケットです。出店希望者は、当日8時から会場へ受け付けます（出店無料）。なお、薬品類・食料品などの販売、マッサージ施術サービスなどは出店で

## 買う・遊ぶ

▼野菜市  
生産者が新鮮な地場農産物を販売します。

▼食べ物の販売コーナー  
ポップコーンやわたあめ、ジュースなどを販売します。

▼ごみ分別クイズ  
イメージキャラクターの「リサイクル忍者わけすけ」とごみの分別クイズを行います。参加賞もあるので、奮ってご参加ください。



ごみ分別にチャレンジ

## ▼ごみ収集車の展示

乗車体験や記念撮影もできます。この他、新聞紙でエコバッグづくりを体験できるコーナーや、紙飛行機教室など、親子で楽しめるイベントを多数行います。



ごみ収集車に乗ってみよう



# 高齢者の肺炎を 予防

## 肺炎球菌予防接種と日ごろの手洗い

高齢者の肺炎球菌予防接種が定期接種となりました。予防接種で重症化を防ぎ、日ごろの予防を習慣にしましょう。

問い合わせ 健康推進課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9720)

### 予防接種で肺炎を予防

日本人の死亡原因の第3位である「肺炎」。主に細菌やウイルスなどが原因で起こる肺の炎症で、死亡者の多くが65歳以上です。

私たちは、日常生活でたくさん  
の細菌やウイルスに接していて、  
体の免疫力が低くなった時に、肺  
炎を発症しやすくなります。肺炎  
球菌は、肺炎だけでなく、慢性呼  
吸器感染症、中耳炎、副鼻腔炎、  
敗血症、髄膜炎などの原因にもな  
ります。

肺炎球菌予防接種を受けること  
で、肺炎などの感染症を予防し、  
重症化を防ぐ効果が期待できます。

### 定期予防接種の対象者など

定期予防接種として、1回だけ  
実施します。対象者は次の①②両  
方に該当する人です。

- ①平成28年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる人(表)
- ②今まで成人用肺炎球菌予防接種を受けたことがない人

対象者には、4月中旬頃にお知らせの文書を郵送しています。60歳以上65歳未満で、心臓、腎

臓、呼吸器、免疫の機能に障害のある人は対象になる場合があるので、相談してください。

なお、この予防接種は法律上の接種義務はありません。希望者向けに、平成30年度まで1人1回、定期接種の機会を設けています。

### 実施期間

平成29年3月31日(金)まで  
持ち物

- ・お知らせの文書
- ・なお、紛失した人、届いていない人には郵送が可能です。
- ・健康保険証など、住所・生年月日が確認できるもの

表 肺炎球菌予防接種の対象年齢

生年月日を確認してください

年齢	生年月日
65歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日生まれ
70歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日生まれ
75歳	昭和16年4月2日～昭和17年4月1日生まれ
80歳	昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生まれ
85歳	昭和6年4月2日～昭和7年4月1日生まれ
90歳	大正15年4月2日～昭和2年4月1日生まれ
95歳	大正10年4月2日～大正11年4月1日生まれ
100歳	大正5年4月2日～大正6年4月1日生まれ

・生活保護受給者は被保護証明書費用 2900円

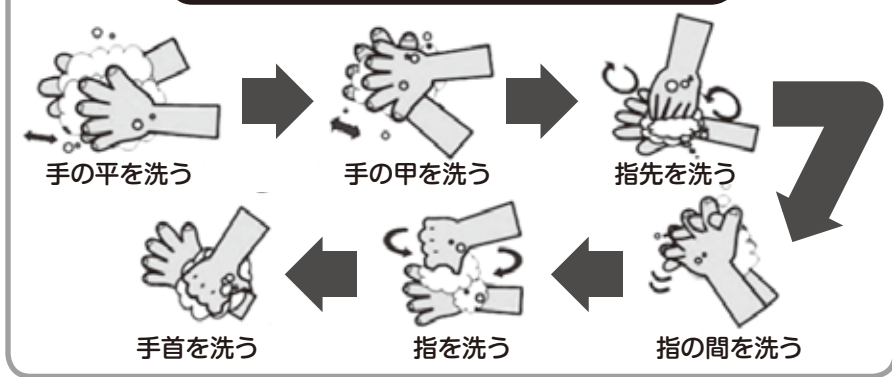
※生活保護受給者は、市が発行する被保護証明書を持参すると費用が免除されます。  
実施医療機関

お知らせに同封したほか、市のホームページに掲載しています。予約が必要な医療機関もあるので、事前に各医療機関へ問い合わせください。

### 予防の基本は手洗いとうがい

予防接種を受ければ、必ず肺炎を予防できるわけではありません。日常生活での予防も大切です。皆さんの手や喉には、肺炎を引き起こすウイルスが付いています。帰宅時などには、手洗いとうがいを徹底してください。

### ばい菌を洗い流す！手洗いの仕方



「新しい赴任地に行ったら、まずそのまちで一番高い場所に上る」。かつて転勤族であった30代に、先輩から教えていただいた「初動」です。先輩たちは、新天地に向かう時、まずこれからの数年間、チャレンジの対象となる地域・まちの全体を眺め、目に焼き付け、決意を新たにしたいのだと思います。私もこれに倣い、英国駐在時はオフィスの前にあったロンドン大火記念塔、札幌時代は藻岩山に登り、帯広に戻ってきた時には、当時から帯広のまち全体を眺めました。自分の生きる場所を、まず遠目に全体として見ることが大切であると感じたことを思い出します。

さて、今、帯広の市街地で一番高い所はどこか、ご存知ですか。今年の6月、帯広の森市民農園サラダ館の東側にできた高さ17メートルの築山がそれで、頂上の標高は市役所の屋上より高い95メートルあります。市内児童が「もりの山」と名付けてくれたこの山の頂上で、110段の階段。それを上り切ると、「おおおお、ひろびろ」とした空間が、気分を爽快にさせてくれます。眼下には、市民の手で育まれてきた帯広の森の豊かな緑が広がり、北東には市街地が見渡せます。振り返ると、農業王国、十勝・帯広を支える広大な大地に、日高山脈の山並みが一望できます。市役所からの眺めとは一味違う景色に、十勝・帯広の魅力の神髄を見たように思いました。

### 市長コラム

## 夢かなうまち おびひろ

### もりの山

帯広市長 米沢 則寿



広告



# 「とがちマルシェ」で おいしさ再発見

## 十勝最大級の「食と音楽」のイベント

十勝の豊かな食材を使った料理や加工品をテーマに、作る人と食べる人の出会いを創出する「とがちマルシェ」。今年もJR帯広駅周辺で開催します。

**問い合わせ** とがちマルシェ運営協議会(西3南9、帯広商工会議所内、☎25・7121、または観光課、市庁舎7階、☎65・4169)

### 3日間だけ出現する フードバレータウン

十勝産の食材を使った料理や加工品、十勝・帯広と交流のある地域の特産品を販売する110店以上が出店します。移動販売車や地元学生によるお店など、バラエティ豊かな魅力ある店が並びます。駅北側のステージでは、地元で活動するミュージシャンらによる演奏を、とがちプラザ南側の南公園

### 注目ポイント

☆音楽に包まれながら十勝産食材にこだわった料理を夜まで楽しめる

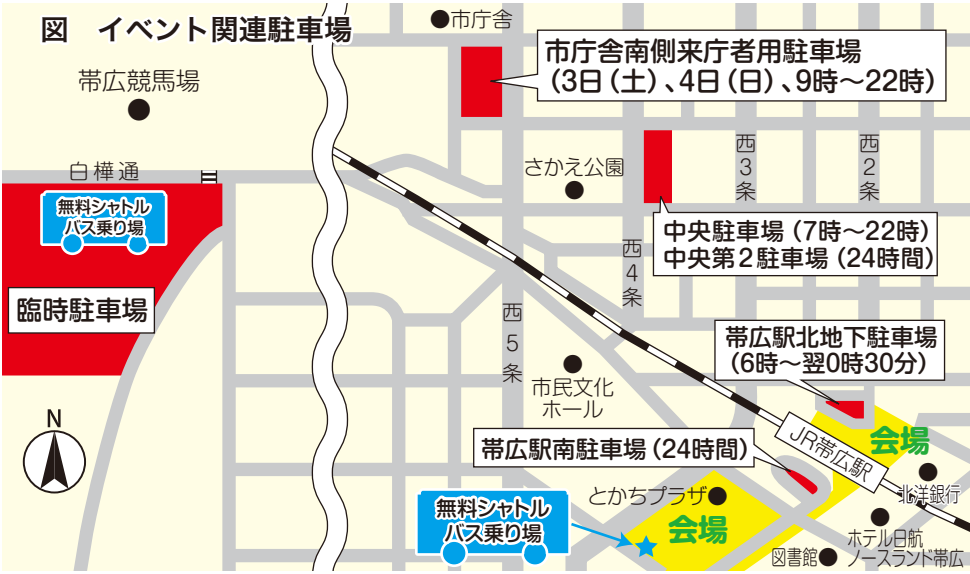
### 駅北側広場

飲食	物産
ダイニングカフェエリア	Myとがち地産地消エリア こだわりの食材エリア
2日(金) 17時~21時 3日(土) 10時~21時 4日(日) 10時~16時	夜も開催!! ナイトマルシェ 10時~18時 10時~16時

### 駅南側広場

帯広駅南口	とがちプラザ東側・南公園
グルメキャンパス	グルメ&フードエリア 食の体験エリア キッチンカーストリート
10時~18時 10時~16時	10時~18時 10時~16時

とがちプラザ調理室では「とがちマルシェ料理甲子園」開催! 4日(日)、9時30分~16時15分予定



昨年のとがちマルシェの様子

### QRコードで簡単アクセス



フェイスブック ホームページ

いずれも20分間隔で運行

9時40分競馬場発、16時会場発、  
競馬場発、18時会場発、4日(日)、  
運行時間 9月3日(土)、9時40分  
競馬場発、18時会場発、4日(日)、  
9時40分競馬場発、16時会場発、

### 無料シャトルバスを運行

会場(とがちプラザ南側)と帯広競馬場南側の臨時駐車場を結ぶ無料シャトルバスを3日(土)、4日(日)に運行します。(図)

### 会場へのアクセス

公共交通機関の利用にご協力

会場周辺は混雑が予想されるため、公共交通機関による来場にご協力ください。

園では、お笑いライブやダンスなどのステージショーも行います。

### 市営駐車場30分無料券を配布

市内中心部にある4つの市営駐車場の利用者に、30分無料券を配布します。駅南北どちらかのとがちマルシェ本部に駐車券を持参してください。なお、最初の30分は無料のため、合計1時間無料で駐車できます。市庁舎南側の来庁者用駐車場は3日(土)、4日(日)に開放します。(図)

### イベント情報 発信中!

イベントなどの詳細や最新情報は、とがちマルシェの公式ホームページやフェイスブックをご覧ください。

HP <http://tokachimarche.com/>

# Information

## 帯広市からの お知らせ

### 9月

申し込み方法など、特に記載のないものは、参加無料ですので当日会場へ直接お越しください。詳しい内容は、担当課へ問い合わせください。(施設ごとに業務時間が異なります)

**市役所代表**  
(☎24・4111、F23・0151)  
**市役所本庁舎業務時間**  
(月～金曜日 8時45分～17時30分)  
**帯広市ホームページ**  
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

#### 往復はがきなど 「申込時の記載事項」

- ①イベント・教室名  
(希望する日時・曜日・コースなど)
- ②住所(郵便番号も)
- ③氏名(ふりがな)
- ④電話番号
- ⑤生年月日(スポーツの教室のみ)
- ⑥性別
- ⑦年齢(高校生以下は学校名・学年、  
年中、年長なども)
- ⑧保護者氏名(小学生以下の場合)
- ⑨返送先(往復はがきの場合)

特に記載のない申し込みは、申込期限必着で1人(組)1通。直接窓口で申し込み場合は、返信用のはがきをお持ちください。

### イベント

#### ふらっとよりみち相談会

自立相談支援センターふらっとの相談員が地域に出向き、日常生活、仕事、家庭、金銭問題などの相談に応じる。

**日・場**▽9月4日(日)、鉄南コミセン(西2南24)▽11日(日)、啓北コミセン(西13北2)▽18日(日)、緑西コミセン(西17南4)▽25日(日)、光南福祉センター(東7南21)、いずれも13時～16時  
**問**自立相談支援センターふらっと(西6南6、ソネビル2階、☎20・7366)

#### 第20回プラザまつり

パフォーマンス書道、縁日・フリマ、ふらざまんぶく食堂、親子で楽しむ手作りコーナー、子どもの居場所づくり事業の活動紹介(11日のみ)など、大人も子どもも楽しめる企画満載のイベント。  
**日**9月10日(土)、10時～17時、11日

(日)、10時～16時  
**場**・問とかちプラザ(西4南13、☎22・7890)  
**帯広の森・はぐくむのイベント**  
小学生以下は保護者同伴。  
**場**・問8月25日(木)～各開催日の前日までに、電話で帯広の森はぐくむ(南町南9線49、☎66・6200)へ。  
◆森の寺子屋「焚火の巻」  
たき木集めや火おこし、たき火でパン作りなどに挑戦する。  
対小学1～6年生  
**日**9月10日(土)、10時～15時  
**定**先着15人  
**費**300円  
◆森のキノコの観察・学習会  
森を歩いてキノコを観察し、少量を採取して学習会を行う。帯広キノコの会と共催。  
**日**9月11日(日)、9時～12時  
**定**先着30人  
◆ガイド養成講座「プログラム作り」  
比屋根哲氏(岩手大学教授)を講師に、森を生かした学習プログラムの作り方を学ぶ。  
**日**9月17日(土)、10時～15時  
**定**先着10人  
◆四季の森めぐり「秋」  
秋の花や生き物について語りながら森を散策。散策の後はお茶会を開催。  
**日**9月24日(土)、10時～12時  
**定**先着30人  
**費**100円

ラムの作り方を学ぶ。  
**日**9月17日(土)、10時～15時  
**定**先着10人  
◆四季の森めぐり「秋」  
秋の花や生き物について語りながら森を散策。散策の後はお茶会を開催。  
**日**9月24日(土)、10時～12時  
**定**先着30人  
**費**100円  
**第15回「女(ひと)と男(ひと)の一行詩」作品展と一般投票**  
男女共同参画をテーマに募集した一行詩の作品展と、入賞作品を決める一般投票。市ホームページからも、9月10日(土)～30日(金)まで投票可能。  
**日**・場▽9月10日(土)～30日(金)、9時～20時(最終日は16時まで)、とかちプラザ(西4南13)▽9月13日(火)～25日(日)、10時～20時(初日は11時から、最終日は16時まで)、図書館(西2南14)▽9月26日(月)～30日(金)、8時45分～19時(初日は10時から、最終日は16時まで)、市民ホール(市庁舎1階)  
**問**男女共同参画推進課(市庁舎3階、☎65・4134)

**児童会館のイベント**  
**場**・問児童会館(緑ヶ丘2、☎24・2434)  
◆親と子のエンジョイ将棋  
対小・中学生と保護者  
**日**9月10日(土)、10時～12時  
◆親子囲碁入門教室  
対小・中学生と保護者  
**日**9月11日(日)、10時～12時  
◆親子科学実験教室  
光の性質を利用し、反射板を使った工作をする。  
対小学3～6年生と保護者  
**日**9月18日(日)、①13時30分～14時30分、②14時40分～15時40分  
◆きらきらパペットシアター  
幼児から小学校低学年向けの人形劇。  
**日**9月18日(日)、14時～15時  
◆親子おもしろ教室「おし花でカードをつくらう」  
身近な花の押し花をきれいに並べてカードを作る。  
対幼児、小・中学生と保護者  
**日**9月24日(土)、9時30分～11時30分

◆星の観察会「二重星を見よう」  
星空解説と天体観察。天候不順時は星空解説のみ。  
**日**9月30日(金)、19時～20時30分  
**とかち帯広空港「空の日」記念航空まつり2016**  
空港見学バスツアー、大型消防車・道警ヘリのデモンストレーション、味覚と地場産品コーナーやビンゴゲーム大会など、子どもから大人まで楽しめるイベント。  
**日**9月11日(日)、10時～15時  
**場**とかち帯広空港(泉町西9線)問空港事務所(とかち帯広空港内、☎64・5320)  
**フラワー通り整備事業30回記念パネル展**  
問みどりの課(市庁舎6階、☎65・4186)  
フラワー通り整備事業開始30年目を記念し、協力団体の活動の様子や花壇の写真をパネルで展示。  
◆市民ホール(市庁舎1階)  
**日**9月14日(水)～20日(火)、8時45分～17時30分(初日は13時から、最終日は15時まで)  
◆みどりと花のセンター(緑ヶ丘2)  
**日**9月21日(水)～10月20日(木)、9時～17時(初日は13時から)

**消費者問題の無料弁護士相談会**  
**日**9月16日(金)、13時30分～15時30分の間で1人30分間  
**定**先着4人  
**場**・申・問9月9日(金)までに、帯広市消費生活アドバイザーセンター(西4南13、とかちプラザ内、☎22・8393)へ。  
**担当**課安心安全推進課(市庁舎3階、☎65・4132)  
**帯広ファミリーサポート講演会**  
三島利紀氏(釧路工業高等専門学校一般教育科教授)が、子どもや親の姿から見えてくる課題と子育ての地域によるサポートについて講演。託児希望者は9月9日(金)までに申し込み。  
対市内在住の人  
**日**9月16日(金)、19時～20時30分  
**場**とかちプラザ(西4南13)  
**定**先着160人  
**申**・問8月26日(金)～9月13日(火)までに、帯広ファミリーサポートセンター(西2南5、ぶれいおん・とかち内、☎66・4285)、または子育て支援課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9700)へ。  
**アイヌの知恵を学ぶ(植物編)**  
イオルの森で、アイヌ民族が実際に利用していた薬用植物などを見て学ぶ。市庁舎集合、解散。  
対小学生以上、小学生は保護者同伴  
**日**9月18日(日)、9時～13時  
**場**イオルの森(上士幌町)  
**定**先着30人  
**費**100円  
**申**・問9月1日(木)～15日(木)までに、文化課(市庁舎8階、☎65・4209)へ。  
**特別企画展「昭和のついでくらし展」関連事業**  
**場**・問百年記念館(緑ヶ丘2、☎24・5352)  
◆真空管ラジオのなかみをのぞく  
田辺泰夫氏を講師に、真空管ラジオの仕組みを学び、昭和30年代

**就労支援講習会** パソコンのワードを学ぶ。託児希望は申し込み時に連絡。対十勝管内在住のひとり親家庭の親 **日**基礎編9月29日(木)、応用編30日(金)、いずれも10時～15時 **定**各先着10人 **場**とかちプラザ(西4南13) **申**・問9月26日(月)までに、電話で母子家庭等就業・自立支援センター(☎20・7751)へ。



の十勝・帯広におけるラジオ作製や修理の様子を知る。  
日9月17日(土)、①10時〜11時、②14時〜15時

◆特別企画展解説ツアー

学芸員の解説を聴きながら、特別企画展をじっくりと巡る。

日▽9月18日(日)、①10時〜10時30分、②14時〜14時30分▽25日(日)、①10時〜10時30分、②14時〜14時30分

動物園のイベント

場・問動物園(緑ヶ丘2、☎24・2437)

◆おびzooトークカフェ

飲み物を片手に飼育員の話聞くトークカフェ。

・カバ学!カバのこと、ダイのこと

日9月18日(日)、13時30分〜14時30分

定先着30人

申9月1日(木)〜17日(土)までに、電話で動物園へ。

・動物園の動物はかわいい? ペットと野生生物の間で

西原智昭氏(WCSコンゴ共和国支部)を講師に、野生の動物と動物園の動物について考える。

日10月9日(日)、13時30分〜15時

定先着30人

申9月19日(祝)〜10月8日(土)までに、電話で動物園へ。

◆敬老の日イベント〜高齢動物にスペシャルメニュー〜

敬老の日に、動物園の高齢動物に特別メニューを給餌します。アメリカバイソン、コンドル、ピグミーヤギ、ゾウを予定。当日は65歳以上の入園料が無料です。給餌時間は動物によって異なる

ので、当日、動物園ホームページや正門・南門にあるスポットガイド予定表で確認してください。  
日9月19日(祝)

平成28年度 帯広市戦没者追悼式

戦争で亡くなられた人を追悼し、平和への誓いを新たにします。

日9月21日(水)、11時〜12時

場とかちプラザ(西4南13) 問社会課(市庁舎2階、☎65・4146)

女性のための 人権なんでも相談所

女性が抱えるさまざまな問題に、女性の人権擁護委員が相談に応じます。秘密厳守。

日9月21日(水)、13時〜15時30分

場とかちプラザ(西4南13) 問帯広人権擁護委員協議会(東5南9、釧路地方法務局帯広支局内、☎24・5853)

担当課男女共同参画推進課(市庁舎3階、☎65・4134)

高齢者ドライビング体験会

自家用車で自動車学校のコースを走行して指導員からアドバイスを受けるほか、各種検査機器を使って、自動車の運転技能や適性などを確認する。

対市内在住の運転免許を持っている65歳以上で、自家用車の持ち込みができる人

日10月2日(日)、9時〜12時

場おびひろ自動車学校(緑ヶ丘9)

定先着35人

申・問9月16日(金)までに、電話で安心安全推進課(市庁舎3階、☎65・4131)へ。

森の交流館・十勝の イベント

場・問森の交流館・十勝(西20南6、☎34・0122)

◆キッズ・プレイグラウンド

歌や絵本などを通じて、外国文化に触れられる遊びの場。テーマはハロウィーン。

対6歳までの子どもと保護者。兄弟も参加可能

日9月17日(土)、10時〜11時30分

◆インターナショナル・トーク(ギリシャ)

ギリシャ出身の帯広畜産大学留学生アルティミス氏が、自国の歴史や文化、習慣などを紹介。

対中学生以上

日9月24日(土)、18時〜19時30分

◆森の茶会〜秋〜 外国人向けに、日本の文化を紹介するお茶会(野だて)を開催。

対十勝管内在住の外国人、市内在住の中学生以上

日9月25日(日)、お茶会体験10時〜11時50分、お点前体験13時〜14時30分

定外国人先着50人、日本人先着10人

費日本人のみ、お茶会体験300円、お点前体験500円

申9月2日(金)〜21日(水)までに、森の交流館・十勝へ。

市民文化ホールのイベント

場・問市民文化ホール(西5南11、☎23・8111)

◆「大ホールでスタインウェイを弾いてみよう!」

世界最高峰のピアノ「スタインウェイ」を大ホールで弾ける。連弾、バイオリンなどのアンサンブルも可能。

対十勝管内在住のピアノを習っている小・中・高校生

日9月24日(土)、10時〜17時

定先着7組

申9月1日(木)〜23日(金)までに、市民文化ホールへ。

◆弦巻楽団「果実」帯広公演

札幌を拠点に活動を続ける劇団「弦巻楽団」による演劇。

日9月29日(木)、19時〜20時30分

費一般1500円、大学生800円、高校生以下無料。チケットは市民文化ホールなどで販売。

帯広の森を巡る散策ツアー

帯広の森全エリアを散策。森の歴史を感じ、森づくり活動団体による森の利活用などを見学する。

市庁舎集合、解散。

日10月1日(土)、9時〜15時

場帯広の森一帯

定先着20人(初参加者優先)

申・問9月26日(月)までに、電話でみどりの課(市庁舎6階、☎65・4186)へ。

ラリー北海道2016

北愛国交流広場を拠点に管内各地をラリーカーが疾走する。

日9月23日(金)〜25日(日)

場北愛国交流広場(愛国町10)ほか 問国際ラリー支援歓迎実行委員会(西2南12、エスタ東館2階、☎22・8600)、観光課(市庁舎7階、☎65・4169)

講座・教室

百年記念館の講座・教室

場・申・問特に記載のないものは

各申込期間に、電話で百年記念館(緑ヶ丘2、☎24・5352)へ。博物館講座は申し込み不要。

◆博物館講座「捨てられるモノ、捨てられないモノーモノに抱くそれぞれの思い」

昭和の生活道具の収集に携わる池田貴夫氏(北海道博物館学芸員)が、博物館にモノを寄附する人の心情を紹介。

日9月3日(土)、14時〜15時30分

◆古文書教室 榎本洋介氏(札幌市文化資料室)を講師に、地域の歴史を知る上で役立つ初心者対象の教室。

日9月10日(土)、14時〜17時、11日(日)、10時〜12時、全2回

定先着40人

申込期間9月1日(木)〜9日(金)

◆平成28年度後期陶芸講座 講師は古家仙智氏(陶芸家)。

対十勝管内在住の18歳以上の初心者

日10月4日〜2月28日の第2・4日

火・水曜日、全18回、10時〜15時

定抽選36人

費1万円(別途材料費など8000円程度)

申9月1日(木)〜21日(水)までに、往復はがきに「申込時の記載事項」

(8頁)を書いて、百年記念館へ。

◆郷土学習バス見学会「音更・土幌の歴史をたずねる」

家畜改良センター十勝牧場(音更町)や美濃の家(土幌町)を訪ねるバス見学会。百年記念館集合、解散。小学生は保護者同伴。

日10月8日(土)、9時〜16時30分

定抽選30人

費1000円

1通で2人まで申し込み可能。

◆楽しくデッサン教室 絵馬とミニパラソルに絵を描いて、楽しみながら絵画を学ぶ。

対十勝管内在住の小学4年生以上

日10月8日、15日、22日、29日の土曜日、全4回、13時30分〜15時30分

定先着20人

費500円

申込期間9月1日(木)〜21日(水)

◆博物館で学ぶ連続講座「十勝の古文書を読む」

依田勉三の日記を読み解いて簡単な古文書を学ぶ。

日10月10日(祝)、23日(日)、11月6日(日)、全3回、14時〜16時

定先着20人

申込期間9月9日(金)〜10月9日(日)

パンとケーキ作り教室

日9月16日、10月21日、11月18日の金曜日、全3回、10時〜12時

定先着20人

費6480円

場・申・問9月9日(金)までに、往復はがきに「申込時の記載事項」

(8頁)を書いて、帯広の森市民農園サラダ館(〒080・2472西22条南6丁目6、☎36・8095)へ。

環境学習会

浦幌炭鉱跡、うめーるセンター美加登を巡り、十勝の環境について学ぶ。市庁舎集合、解散。

日9月16日(金)、9時〜16時30分

定先着30人

費1000円

申・問9月1日(木)〜8日(木)までに、電話で環境都市推進課(市庁舎8階、☎65・4135)へ。

語り手育成講習会・入門編

絵本の読み聞かせやおはなし会に興味がある人を対象に、絵本の選び方や読み方などを学ぶ。

日9月17日(土)、13時～15時
定先着50人
場・申・問9月1日(木)～16日(金)までに、図書館(西2南14、☎22・4700)へ。

市民大学講座

対15歳以上
場とかちプラザ(西4南13)(第22集を除く)
申・問特に記載がない場合は各開催日の前日までに、生涯学習課(市庁舎8階、☎65・4192)へ。

◆第21集「健康と情報と栄養とテラシーを育てる」
佐々木将太氏(帯広大谷短期大学生生活科学科助教)を講師に、これまで話題のダイエット法や健康関連食品などを、栄養学的、健康科学的に検証し、日常生活に役立てる力を育てる。未就学児(2歳以上)の託児希望者は8月30日(火)までに申し込み。

日9月6日(火)、19時～20時30分
定先着50人
◆第22集「動物園を2倍楽しむ!」
骨から探る動物たちの行動や機能」
佐々木基樹氏(帯広畜産大学基礎獣医学研究部門教授)を講師に、さまざまな動物の骨の形や大きさから、その動物の行動や機能を知り、動物園をさらに楽しむ方法を学ぶ。入園料がかかります。
日9月11日(日)、13時30分～15時
場動物園(緑ヶ丘2)

定先着40人
申込期限9月9日(金)

◆第23集「知るぼると塾in帯広」
豊かなセカンドライフと今から始める終活」
徳江孝一氏(金融広報アドバイザー)を講師に、終活を通じて保険や相続、介護のことなど、セカンドライフに必要なお金に関する知識を学ぶ。未就学児(2歳以上)の託児希望者は9月6日(火)までに申し込み。

日9月13日(火)、10時30分～12時
定先着50人
◆第24集「俳人 与謝蕪村の表現」
世界と時空の彼方へ」
森山弘毅氏(釧路公立大学名誉教授)を講師に、秀句「菜の花や月は東に日は西に」から、時間と空間を自在に駆けめぐった与謝蕪村の表現世界を探る。全2部構成。未就学児(2歳以上)の託児希望者は9月8日(木)までに申し込み。

日9月15日(木)、14時～17時30分
定先着50人
◆第25集「十勝前史・江戸末期・明治・大正・昭和までの歴史を紐解く」
嶺野侑氏(元帯広市議会議員)を講師に、十勝の歴史に影響を与えた人物や知られざる歴史を隔月で紐解くシリーズ。今回は帯広に入植した晩成社よりも早く内陸に入った開拓者に焦点をあてる。未就学児(2歳以上)の託児希望者は9月20日(火)までに申し込み。

日9月27日(火)、18時30分～20時
定先着150人
◆第26集「怒りやイライラをプラズムのエネルギーへ」
その日から実践できるアンガーマネジメント」
長縄史子氏(日本アンガーマネ

ジメント協会認定トレーニングプロフェッショナル)を講師に、仕事やプライベートにおける怒りやイライラの感情を上手にコントロールし、プラスのエネルギーに転じる方法をステップアップ方式で学ぶ。未就学児の託児希望者は、9月21日(水)までに申し込み。
日9月28日(水)、10月13日(木)、25日(火)、全3回、19時～20時30分
定先着50人
費500円
帯広市男女共同参画セミナー「子どもの笑顔が輝くまち」
大日向雅美氏(恵泉女学園大学学長、NPO法人あい・ぼーとステーション代表理事)を講師に、性別による役割分担意識を持たせない幼児教育を学ぶ。未就学児の託児希望者は9月8日(木)までに申し込み。
対十勝管内在住の人
日9月17日(土)、13時30分～15時30分
場とかちプラザ(西4南13)
定先着100人
申・問9月16日(金)までに、男女共同参画推進課(市庁舎3階、☎65・4134)へ。

食育・パパと子の料理教室

「煮込みハンバーグ(ゴボウ入り)」「みぞれ」「浅漬け」を作る。
対市内在住の年中児に当たる幼児(小学1年生と保護者(男性のみ))
日10月2日(日)、10時～13時30分
定先着10組(初参加者優先)
費500円
場・申・問9月6日(火)～15日(木)までに、子育て支援課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9722)へ。

プラザ・エンジョイスクール

楽しく分かりやすいパソコン10月講座。各講座、全5回。
対18歳以上
日10月4日～20日の各曜日、▽午前の部10時～12時▽午後の部13時30分～15時30分▽夜間の部18時30分～20時30分

Table with 2 columns: 講座名, 日程. Rows include: 楽しくパソコン, スマホとPCの活用, 仕事に役立つファイル操作とマルチメディア, デジカメとパソコン(フォトアルバム・音楽), はじめての文字入力, 資格・スキルアップワード①

定先着20人
費4000円(テキスト代別途)
場・申・問9月2日(金)～21日(水)までに、直接とかちプラザ(西4南13、☎22・7890)へ。

潜在介護士等復職支援研修会
子育てなどを理由に介護職場を離職した有資格者を対象に、職場への復帰のために必要となる知識の習得を支援する研修会。
対介護福祉士、初任者研修終了などの資格を持つ人で、市内か近隣町村の介護施設などに就職を希望する人
日10月8日(土)、9時～12時、15日(土)、9時～15時、29日(土)、9時～14時、全3回
場帯広コア専門学校(西11南41)
定先着20人
申・問9月16日(金)までに、介護保

険課(市庁舎1階、☎65・4150)へ。

第2回環境見学会

ごみ処理・リサイクル方法を学ぶ。市庁舎集合、解散。
対市内在住の人
日10月5日(水)、9時～12時
場くりりんセンター(西24北4)、十勝リサイクルプラザ(西23北4)
定先着20人
申・問9月14日(水)～28日(水)までに、電話で清掃事業課(西24北4、☎37・2311)へ。

動物園からのお知らせ

場・申・問各申込期間に、官製はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、動物園(〒080・0846緑ヶ丘2番地、☎24・2437)へ。
当選者には別途通知する。

◆小学生の1日飼育係
対小学4～6年生
日10月22日(土)、10時～15時
定抽選12人
申込期間9月22日(祝)～10月6日(木)

◆中高生の1日飼育係
対中・高校生
日10月1日(土)、10時～15時
定抽選4人
申込期間9月1日(木)～15日(木)

パソコン講座「Power Pointでデジタルアルバムを作ろう」

パワーポイントの基本を学ぶ学校開放講座。
対市内在住の18歳以上(学生を除く)で全日程に参加できる人
日10月25日(火)～28日(金)、全4回、18時30分～20時30分
定抽選30人

広告

費2000円

場・申・問 9月9日(金)～10月7日(金)までに、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、南商業高等学校(〒080・2471西21条南5丁目36、☎34・5852)へ。

普通救命講習

出血時の止血法や心臓停止、呼吸停止時の救命手当て、AEDの使い方など心肺蘇生法を習得する。

日・場 ①10月9日(日)、消防庁舎(西6南6)、②19日(水)、南出張所(西17南41)、いずれも13時30分～16時30分

定①先着50人、②先着30人 費5000円

申・問 ①は9月3日(土)～10月2日(日)まで、②は9月13日(火)～10月12日(水)までに、帯広消防署救急課(西6南6、消防庁舎1階、☎26・9131)へ。

赤十字健康生活支援員養成講習会

健康増進の知識や高齢者の支援・自立に役立つ看護技術を学ぶ。

対15歳以上 日10月1日(土)、2日(日)、全2回、9時～15時

場清水赤十字病院(清水町南2条2丁目1)

定先着20人 費9000円

申9月1日(木)～30日(金)までに、直接社会課(市庁舎2階、☎65・4146)へ。

赤十字幼児安全法支援員資格継続研修

継続研修を受講すると、資格が5年間継続。

対赤十字幼児安全法支援員の資格を取得してから2年以上経過し、有効期限を迎えていない人

日10月2日(日)、9時～13時 場グリーンプラザ(公園東町3) 定先着15人 費10000円

申・問 9月1日(木)～30日(金)までに、直接社会課(市庁舎2階、☎65・4146)へ。

赤十字救急法の講習会

心肺蘇生法やAEDの使用方法など、応急手当てを学ぶ。

対15歳以上 日①10月8日(土)、12時30分～17時、②15日(土)、9時～13時

場①帯広の森市民プール(南町南7線56)、②グリーンプラザ(公園東町3) 費15000円

申込期間①9月8日(木)～10月7日(金)、②9月14日(水)～10月14日(金)

◆赤十字水上安全法救助員Ⅰ養成講習会

水辺の事故を防ぐための実技中心の講習。申込時に赤十字救急法基礎講習認定証を持参。

対救急法基礎講習認定証を持つ15歳以上で、500メートル以上泳ぐことができる人

日▽10月8日(土)、18時～21時▽9日(日)、13時～21時▽15日(土)、18時～21時▽16日(日)、13時～20時、全4回

場帯広の森市民プール 費7000円

申込期間 9月8日(木)～10月7日(金)

◆赤十字救急法救急員養成講習会

救急員の資格取得を目指す。3日間の講習後に検定あり。申込時に救急法基礎講習認定証を持参。

対15歳以上の救急法基礎講習認定証を持っている人 日▽10月15日(土)、14時～17時▽16日(日)、9時～17時▽22日(土)、9時～17時、全3回

場グリーンプラザ 費17000円

申込期間 9月14日(水)～10月14日(金)

◆からだスツキリ講座ウォーキング編②

北栄グリーンロードで正しいウォーキングを学びながら実践する。

対市内在住の18歳以上 日9月28日(水)、10時～12時 場啓北コミセン(西13北2) 定先着40人

申込期間 9月26日(月)

◆エキノコックス病検診

採血による血清反応検査。結果は約4週間後に通知。申し込み不要。

対市内在住の小学3年生以上で、過去5年以内に受診していない人 日9月4日(日)、10時～15時、29日(木)、14時～14時30分

場保健福祉センター(東8南13) 費3000円(中学生以下は無料)

◆ランチ&運動つき健診教室

病気の早期発見とメタボにならないための栄養学習と試食、手軽な運動をセットで体験できる教室。

対特定健診、がん検診申込者 日10月15日(土)、11時～12時40分 場西帯広コミセン(西23南2) 定先着20人

申10月5日(木)までに、電話で北海道がん協会帯広出張所(☎27・2345)へ。

健康・福祉

第31回おびひろ健康まつり

「みんなでめざそう、健康の金メダル!」をテーマに、講演会、各種健康測定、お菓子を使った模擬調剤体験、子ども用ナース服や白衣の試着体験など、子どもも大人も楽しめるイベント。

日9月4日(日)、10時～15時 場保健福祉センター(東8南13) 問健康推進課(保健福祉センター内、☎25・9721)

◆健康推進課からのお知らせ

申・問特に記載のないものは各申込期限までに、健康推進課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721)へ。

◆からだスツキリ講座ウォーキング編①

ウォーキングを学びながら実践する。

対市内在住の18歳以上 日9月14日(水)、10時～12時 場緑西コミセン(西17南4) 定先着40人

◆ゲートキーパー研修会&基礎編

自殺を考えるほど悩んでいる人に気付き、支援につなげ、見守る人「ゲートキーパー」としての心得や自殺の現状、自殺を考えている人の心理などを学ぶ。

対市内在住の人 日9月28日(水)、13時30分～16時 場保健福祉センター 定先着40人 申込期間 9月21日(水)

◆健康づくり推進員養成講座

対講座に4回以上参加できる市内在住の人で、推進員としてボランティア活動に参加できる人。

日10月7日(金)、12日(水)、17日(日)、20日(木)、25日(火)、全5回、10時～15時 場保健福祉センター 定先着20人

申込期間 9月1日(木)～29日(木)

◆健康づくり教室「血管年齢若返りコース」

妊婦中の栄養のお話、赤ちゃんをお風呂に入れる練習、パパの妊婦体験など、出産・育児を学ぶ。

対2月に初出産予定の夫婦 日10月16日(日)、13時～15時30分 申9月12日(月)～10月12日(水)までに、電話で子育て支援課へ。

◆パパママおしゃべり広場

子育てサークルのママたちが、幼稚園・保育所(園)に関する質問に答えたり、入園グッズを紹介。対来年度、幼稚園や保育所(園)に入園を考えている保護者

日9月29日(木)、10時～11時30分 定先着60組 場・申・問 8月26日(金)～9月16日(金)までに、子育て支援課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9700)へ。

◆乳幼児健診のお知らせ

対象日は個別通知を確認。受け付けは12時20分～13時15分

◆5カ月児健診とBCG接種

健診に来られなくても希望者には、絵本をプレゼント。詳細は問い合わせください。

担当課障害者生活支援センター(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9701)

在任の人で、推進員としてボランティア活動に参加できる人。 日10月7日(金)、12日(水)、17日(日)、20日(木)、25日(火)、全5回、10時～15時 場保健福祉センター 定先着20人 申込期間 9月1日(木)～29日(木) ◆健康づくり教室「血管年齢若返りコース」 日10月12日(水)、11月30日(水)、1月11日(水)、全3回、9時30分～12時 場保健福祉センター 定先着20人 申込期間 10月3日(月)

◆1歳6カ月児健診

対平成27年2月生まれ 日9月1日(木)、7日(水)、13日(火) ◆3歳児健診

対平成25年8月生まれ 日9月8日(木)、14日(水)、29日(木) ◆ほんわかファミリー教室

妊婦中の栄養のお話、赤ちゃんをお風呂に入れる練習、パパの妊婦体験など、出産・育児を学ぶ。

対2月に初出産予定の夫婦 日10月16日(日)、13時～15時30分 申9月12日(月)～10月12日(水)までに、電話で子育て支援課へ。

◆障がい者乗馬体験

乗馬を通じて、運動による健康の増進や生活の質の向上を図る。体験者1人に引率者1人同伴が必要。体重などの制限があるので問い合わせください。

対市内在住または市内の施設を利用している身体障害、知的・精神障害、発達障害のある人 日①9月30日(金)、10時30分～12時、②10月14日(金)、10時30分～12時、③22日(土)、10時～12時 定①②5人程度、③10人程度 費2000円

場・申・問 ①9月5日(月)～16日(金)、②9月16日(金)～30日(金)、③9月26日(月)～10月7日(金)までに、申込用紙を郵送またはファクスで帯広畜産大学(稲田町西2線11、☎49・5776、F49・5289)へ。申込用紙は畜大ホームページから印刷するか、問い合わせください。

◆子育て支援課からのお知らせ

子育て支援課(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9700)へ。

◆ゲートキーパー研修会&基礎編

自殺を考えるほど悩んでいる人に気付き、支援につなげ、見守る人「ゲートキーパー」としての心得や自殺の現状、自殺を考えている人の心理などを学ぶ。

対市内在住の人 日9月28日(水)、13時30分～16時 場保健福祉センター 定先着40人 申込期間 9月21日(水)

◆健康づくり推進員養成講座

対講座に4回以上参加できる市内在住の人で、推進員としてボランティア活動に参加できる人。 日10月7日(金)、12日(水)、17日(日)、20日(木)、25日(火)、全5回、10時～15時 場保健福祉センター 定先着20人 申込期間 9月1日(木)～29日(木) ◆健康づくり教室「血管年齢若返りコース」 日10月12日(水)、11月30日(水)、1月11日(水)、全3回、9時30分～12時 場保健福祉センター 定先着20人 申込期間 10月3日(月)

# 2016 帯広市 スポーツフェスティバル

## 10/10 (祝)

体育の日に各種スポーツイベントを開催。当日は競技終了後17時まで、体育施設を無料開放。詳細は問い合わせください。  
日10月10日(祝)、7時～17時  
場帯広の森運動公園(南町南7線)ほか  
問スポーツ振興室(市庁舎8階、☎65・4210)

行 事	申込期限
ミニバレー大会	9月23日(金)
市民パークゴルフ大会	9月27日(火)
硬式テニス(ダブルス)	9月28日(水)
市民ソフトボール(スローピッチ)大会、タグラグビー大会、走り方教室・キッズランニング	9月30日(金)
バスケットボールチャレンジゲーム	10月1日(土)
市民スポーツ弓道大会	10月2日(日)
市民スポーツ柔道大会、ドッジボール、ジュニアフットサル大会	10月3日(月)
ゲートボール大会	10月5日(水)
卓球	10月6日(木)
軟式野球(スピードガンコンテスト)、アーチェリー体験試射会、バドミントン(ダブルス)、サイクリング	当日受付
日本泳法: 游法公開・体験会、初心者スケート教室	申し込み不要

体育の日以外に開催される行事

開 催 日	行 事	申込期限
9月18日(日)	ソフトバレーボール大会	9月7日(水)
10月2日(日)	ミニテニス&卓球、水中歩行	申し込み不要
10月9日(日)	KIP杯2016(体操競技)	9月30日(金)
10月16日(日)	第47回市民スポーツ剣道大会	9月9日(金)

### 障害者生活支援センターからのお知らせ

場・申・問各申込期間に、電話またはファクスで障害者生活支援センター(東8南13、保健福祉センター内、☎25・9701、F25・9703)へ。手話・要約筆記通訳の希望者は早めに申し込みください。

### ◆障害者切り絵アート体験講座

初めてでも楽しめる切り絵アート体験講座。  
対市内在住の障害のある人  
日9月13日(火)、27日(火)、全2回、10時～12時  
定先着12人  
費400円  
申込期間9月1日(木)～8日(木)

### ◆身体障害者デイサービス(後期)の受講生募集

初めての人は募集前の見学が可

能。詳細は問い合わせください。  
対市内在住の身体障害者手帳を持つ人  
日いずれも10月～翌3月の各曜日、全16回、①書道(火曜日10時～12時)、②陶芸(火曜日13時30分～15時30分)、③卓球(水曜日10時～12時)、④革工芸(水曜日13時30分～15時30分)  
定各先着①②④15人、③20人、いずれも初めての人の優先  
費材料費などの実費  
申込期間9月1日(木)～12日(月)

### 視覚障害者のボランティア養成講座

点字や音訳、テキストデザイン、図書の作成など、視覚障害者への情報支援ボランティア入門講座。  
日10月13日(木)、14日(金)、20日(木)、21日(金)、27日(木)、28日(金)、11月10日(木)、11日(金)、全8回、13時30分

### 高齢者福祉課からのお知らせ

問高齢者福祉課(市庁舎2階、☎65・4145)

### ◆認知症サポーター養成講座

認知症の症状や認知症の人との接し方などを学び、認知症の人を地域で見守る応援者を養成する。  
日9月27日(火)、18時30分～20時30分  
場市庁舎  
申9月1日(木)～26日(月)までに、高齢者福祉課へ。

### ◆認知症・家族の集い「茶話会」

認知症の人を介護している家族の交流会。介護を終えた人や、認知症の人と一緒に参加も可能。手伝いが必要な場合は連絡ください。  
日9月29日(木)、13時30分～15時  
場グリーンプラザ(公園東町3)  
費100円

## スポーツ

### 帯広の森市民プールからのお知らせ

場・申・問各申込期限までに、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、帯広の森市民プール(〒080・0856南町南7線56番地、帯広の森運動公園内、☎47・3630)へ。  
◆おやこ水泳教室(4回目)  
親子でプールに入り、水遊びを通して楽しみながら水に慣れる。  
対市内在住の2～4歳児と保護者  
日10月3日～11月14日の月曜日、

全6回、10時～10時50分  
定抽選20組  
費3000円  
申込期限9月14日(水)

### ◆幼児水泳教室(4回目)

水遊びから水泳の基礎を習う。  
対市内在住の年中・年長児に当たる幼児  
日10月3日～11月14日の月曜日、全6回、▽Aコース15時～15時50分▽Bコース16時～16時50分▽Cコース17時～17時50分  
定各コース抽選40人  
費3000円  
申込期限9月14日(水)

### ◆年少児水泳教室(3回目)

水遊びから水泳の基礎を学ぶ。  
対市内在住の年少児に当たる幼児  
日10月15日～11月19日の土曜日、全6回、▽Aコース15時～15時50分▽Bコース16時～16時50分  
定各コース抽選30人  
費3000円  
申込期限9月28日(水)

### ◆キッズサイズ

運動能力の低下を改善する、子ども向け運動教室。  
対市内在住の年中児に当たる幼児～小学2年生  
日10月19日～11月23日の水曜日、全6回、16時～16時50分  
定抽選10人  
費3000円  
申込期限9月28日(水)

### シヨートトラックスケート教室

対中学生以上のスピードスケート経験者  
日10月5日～27日の水・木曜日、全8回、19時～21時  
定抽選10人  
費4000円

### 硬式テニス教室

硬式テニスの基本を習得する。  
対十勝管内在住の18歳以上  
日10月6日～12月15日の木曜日、全10回、19時～21時  
定抽選30人  
費3500円  
場・申・問9月12日(月)までに、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、帯広の森体育館(〒080・0856南町南7線56番地、帯広の森運動公園内、☎48・8912)へ。

### 総合体育館からのお知らせ

場・申・問各申込期限(消印有効)までに、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、総合体育館(〒080・0030大通北1丁目1、☎22・7828)へ。  
◆50歳からの健康体操(2回目)  
高齢者や運動経験の少ない人でも参加しやすいエクササイズ教室。  
対市内在住の50歳以上  
日10月20日～12月22日の木曜日、全8回、13時～13時45分  
定抽選30人  
費3200円  
申込期限10月6日(木)

### ◆ナイトヨガ(2回目)

ストレッチ効果で心身の緊張をほぐし、ストレスを解消。  
対市内在住の18歳以上  
日10月26日～12月21日の水曜日、

全8回、▽Aコース18時45分～19時45分▽Bコース20時～21時  
定各コース抽選15人  
費3500円  
申込期限10月12日(水)

### ちびっこスケート教室(2回目)

対市内在住の小学1～6年生の未経験者  
日10月27日～11月19日の土曜日、全10回、17時10分～18時  
場帯広の森第二アイスアリーナ  
定抽選70人  
費4000円  
申・問10月6日(木)までに、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、帯広の森アイスアリーナ(〒080・0856南町南7線56番地、帯広の森運動公園内、☎48・6256)へ。

### 女性アスリートコンディショニングセミナー

主に中・高校生の女性アスリートを対象とした、月経と食事・栄養についてのセミナー。コンディショニングチェックも行う。  
日10月29日(土)、13時～16時  
場明治北海道十勝オーバル(南町南7線56)  
定先着60人  
申・問10月15日(土)(消印有効)までに、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、帯広の森研修センター(〒080・0856南町南7線56番地、帯広の森運動公園内、☎48・8048)へ。

### スポーツパフォーマンス測定会in帯広

トップアスリートが使う測定機器でスポーツ能力を測り、自分が

# 募 集

## 9月定期募集分 市営住宅入居者を募集

申し込みは郵送や電話ではできません。印鑑を持参の上、直接お越しください。

申し込み方法や入居者資格、募集住宅は問い合わせください。市営住宅の収入基準を超える人向けの、特定公共賃貸住宅は随時受け付けています。

日9月8日(木)、8時45分～17時30分、9日(金)、8時45分～19時  
場・問住宅課(市庁舎3階、☎65・4190)

## 平成28年度とかち広域消防事務組合 消防職員採用資格試験(後期)

平成29年4月1日採用予定の消防職員を募集。申し込み前に、必ず試験案内で資格要件と申し込み方法を確認してください。

試験案内は、消防局総務課、十勝管内各消防署と市庁舎総合案内で配布のほか、とかち広域消防事務組合ホームページにも掲載。  
受験区分短大卒、高校卒、救急救命士

採用人数試験案内で確認してください。

試験日程1次試験(一般教養試験)

適性試験)9月24日(土)、2次試験(面接など)以降の日程は試験案内で確認してください。

試験会場とかち広域消防局庁舎(〒080-0016西6条南6丁目3番地1)

申・問9月1日(木)～9日(金)までに、採用試験申込書と郵便はがきを同封の上、直接または郵送で消防局総務課人事給与係(消防局庁舎3階、☎26・9121)へ。

## 住まいの改修助成事業 第3回募集

消費税を除く10万円以上の改修工事をする人に、5万円分の地域商品券を交付。

対助成金交付決定後に行う改修工事(ただし、同一対象者、同一住宅への助成は1回のみ)  
募集件数抽選100件

申・問9月5日(月)～16日(金)までに、直接建築指導課(市庁舎6階、☎65・4180)へ。

## 2016フードバレー とかちマラソン大会のボランティアを募集

10月30日(日)の大会当日に、コース沿道の観衆の整理や走路の警備などにあたるボランティアを募集。



ボランティアの皆さんも主役です

対高校生以上

定900人程度

申・問9月16日(金)までに、申込書に必要事項を記載し、郵送または

ファクスで2016フードバレーとかちマラソン大会実行委員会事務局(市庁舎8階、スポーツ振興室内、☎65・4210、F23・6142)へ。申込書はスポーツ振興室で配布のほか大会ホームページからもダウンロード可能。

## 自衛官を募集

詳細は問い合わせください。

## 自衛隊各種学生募集区分

募集種目	応募資格	申込期限	試験日
航空学生	高卒(見込含)21歳未満の者	9月8日(木)	1次:9月22日(祝) 2次:10月15日(土)～20日(木) 3次:11月12日(土)～12月15日(木)
一般曹候補生	18歳以上27歳未満の者		1次:9月16日(金)、17日(土) 2次:10月6日(木)～12日(水)
自衛官候補生(女子)		9月27日(火)	
自衛官候補生(男子)		試験日の前日まで 9月28日(水)、29日(木)、30日(金)	

申各申込期間に、自衛隊帯広募集案内所(西5南14、☎23・8718)へ。

担当課総務課(市庁舎5階、☎65・4100)

## 平成29年4月からの 指定管理者を募集

平成29年4月以降の公の施設を管理運営する指定管理者を募集します。募集内容の詳細は、9月中旬に市ホームページなどで公表します。

対象施設都市公園、駅北地下・駅南駐車場、北愛国交流広場、とかち大平原交流センター、畜産物加工

工研修センター、畜産研修センター、市民文化ホール、体育施設、ポロシリ自然公園など  
問行政推進室(市庁舎5階、☎65・4112)

## 案 内

### 9月19日「敬老の日」、22日「秋分の日」は通常通りごみを収集します

収集日の午前9時までに分別ルールに基づいて、決められたごみステーションにごみを出してください。

問清掃事業課(西24北4、☎37・2311)

## 平成28年第3回 帯広市議会定例会

開催中は会議を傍聴できます。事前申し込みをしないと、幼児の一時預かり、手話通訳者の派遣、携帯型補聴器誘導システムが利用できません。

また、ホームページから生中継映像を見ることが出来ます。日程は変更になる場合があります。

日 時	会議など
9月23日(金) 13時～	本会議(初日)
9月26日(月) 10時～	議案審査特別委員会
9月29日(木) 10時～	本会議(一般質問予備日)
9月30日(金) 各10時～	本会議(一般質問)
10月3日(月)～5日(水) 各10時～	決算審査特別委員会
10月6日(木)、7日(金) 各10時～	決算審査特別委員会
10月11日(火)～14日(金)	
10月18日(火) 13時～	本会議(最終日)

場市庁舎議会議棟4階  
問議事事務局総務課(市庁舎議事

## 合併処理浄化槽の設置を希望する人へ

平成29年度の合併処理浄化槽設置の申し込みを受け付けします。詳細は問い合わせください。

対公共下水道区域と清川集落排水区域を除く地域で、住宅の新築や改築で合併処理浄化槽の設置を予定している人

申・問9月1日(木)～12月26日(月)までに、直接農村振興課(市庁舎7階、☎65・4172)へ。

## こんなときには、国民年金の届け出が必要です

国民年金は、日本国内に住所がある20歳以上60歳未満の全ての人加入する制度です。届け出を忘れると、将来受け取る年金額が減ったり、受けられなくなったりすることがあるので、忘れずに届け出をしましょう。

▽20歳になったとき(厚生年金に加入していない人)▽60歳になる前に会社などを退職したとき▽海外から転入したとき(厚生年金に加入していない人)▽収入が増え、会社員や公務員などの被扶養配偶者でなくなったとき▽配偶者の退職や死亡により会社員や公務員などの被扶養配偶者でなくなったとき▽離婚により会社員や公務員などの被扶養配偶者でなくなったとき

会社などに勤めている人の被扶養配偶者になるときはその人の勤務先へ届け出を行います。

問戸籍住民課(市庁舎1階、☎65・4143)、帯広年金事務所(西1南1、☎25・8113)

広告

# みんなの広場

市以外からの市民向けのお知らせを掲載しています。  
11月号掲載の受付締め切りは9月15日(木)です。

**問い合わせ** 広報広聴課 (市庁舎3階、☎65・4109)

### 北海道里親研修大会

里親制度に関心がある人、子育ての参考になりたい人など、ぜひお越しください。入退場自由。

日時 9月4日(日)、10時〜15時  
場所 十勝川温泉笹井ホテル(音更町十勝川温泉北15)

問い合わせ 同大会実行委員会事務局・森(☎22・5100)

### 帯広刑務所矯正展

全国の刑務所で作った製品のほか、帯広刑務所で収穫した野菜などを格安で販売します。施設見学や催し物も行います。雨天決行。

日時 9月11日(日)、9時〜15時  
場所・問い合わせ 帯広刑務所企画部門作業(別府町南13線33、☎48・79998)

### Motto おび広がるプロジェクト 活用事業「双葉幼稚園展」

国の登録有形文化財である旧双葉幼稚園の赤い丸屋根内部や資

料・写真の公開、青い目の人形を展示します。

日時 9月17日(土)〜22日(祝)、10時〜15時  
場所 旧双葉幼稚園(東4南10)

問い合わせ 双葉幼稚園保存期成会(☎090・5073・2291)

### 講演会「やんちゃな神さまが贈る自分を生きるコツ」

金城幸政氏(人間学講師)による、健康、仕事、人間関係、子育てについて、とにかく笑える講演会を行います。詳細は問い合わせください。

日時 9月18日(日)、13時〜14時30分  
場所 とかちプラザ(西4南13)  
費用 9月16日(金)までは5000円、17日(土)以降は6000円

申し込み・問い合わせ 電話でいぢやりば@十勝・三浦(☎090・9753・4264)へ。

### 帯広神社例祭流鏝馬奉納

五穀豊穣などを願い、馬上からのを狙います。雨天決行。

日時 9月25日(日)、10時〜12時(流鏝馬は11時開始)  
場所 帯広神社境内(東3南2)

問い合わせ 十勝ださんこ弓馬会事務局・中村(☎090・6873・5261)

### コグニサイズの会からのお知らせ

日時 9月25日(日)、15時〜17時  
場所 グリーンプラザ(公園東町3)

◆コグニサイズ体験会  
認知症予防のため、有酸素運動と脳活性化トレーニングを同時に行う「コグニサイズ」の体験会を行います。当日直接お越しください。定員当日先着40人(定員を超えた

場合も見学は可能)

### ◆運営ボランティアの募集

当日会場内で運営の手伝いをするボランティアを募集しています。申し込み前日までに、電話でコグニサイズの会へ。

### 第8回財団杯帯広オープン・男女団体卓球大会

参加資格18歳以上で傷害保険に加入していること  
日時 9月25日(日)、8時〜18時  
費用 1チーム3000円

申し込み 9月12日(月)までに、申込書と参加料を郵送または持参でT12スポーツ(〒080・0801東1条南1丁目5-24、渡辺ビル)へ。

場所・問い合わせ 総合体育館(大通北1、☎22・7828)

### 第8回財団杯パークゴルフ大会

対象市内在住の人  
日時 10月1日(土)、8時〜15時  
場所 帯広の森運動公園パークゴルフ場(南町南7線56)

定員抽選100人  
費用 10000円  
申し込み・問い合わせ 9月14日(水)までに、往復はがきに「申込時の記載事項」(8頁)を書いて、帯広の森陸上競技場(〒080・0856南町南7線56番地7、帯広の森運動公園内、☎47・1188)へ。

子どもたちと行く十勝体験ツアー  
見えて食べて伝えて

上士幌町で熱気球体験などを行います(雨天時は内容変更)。市庁舎集合、解散。昼食持参。

対象小学生と保護者  
日時 10月1日(土)、9時〜15時  
定員先着20組  
費用 子ども5000円、大人1500円

申し込み・問い合わせ 9月13日(火)

〜20日(火)までに、電話で十勝でアクションめぐりー・赤間(☎37・5756)へ。

### ふまねっと運動講演会と実技体験

ふまねっと運動の目的と効果についての講演後、実技を体験します。

日時 10月1日(土)、13時30分〜15時30分  
場所 保健福祉センター(東8南13)  
定員先着90人

申し込み・問い合わせ 9月26日(月)までに、電話でふまねっと帯広事務局・波多野(☎36・4606)へ。

プレママわくわくセミナー  
ハロー赤ちゃん!

産婦人科医、歯科医、保健師の話やピアノコンサートなど、楽しくするための教室を開催します。対象妊婦または1歳未満の子どもを育児中の人と家族

日時 10月1日(土)、13時〜15時30分  
場所 とかちプラザ(西4南13)  
定員先着150人

申し込み・問い合わせ 前日までに、電話で母子衛生研究会北海道地区事務局(☎011・233・5977)へ。

日本語ボランティア養成講座  
「あわてないで教えよう2016」

地域に在住している外国人に日本語を教えるボランティアを養成する講座です。

日時 10月15日(土)、29日(土)、11月19日(土)、26日(土)、いずれも11時30分〜14時30分  
場所 市民文化ホール(西5南11)  
定員抽選15人程度

申し込み・問い合わせ 10月8日(土)までに、S-I札幌日本語学校・島(☎080・3237・1101)へ。

## 図書館のオススメ

家族の一員として生活を共にし、いつまでも元気でいてほしいペット。今月は犬の介護に関する本を紹介します。

▶問 図書館(西2南14、☎22・4700)

### 『犬の介護に役立つ本』

☆著者…高垣 育、上田 泰正  
☆監修…本田 英隆 ☆出版社…山と溪谷社



※表紙画像使用許諾済

家族同然に過ごす愛犬が、年を取って介護が必要になったとき、自分は何をしてあげられるのか。愛犬との楽しい日々を過ごしつつも、漠然と不安を抱えている人も多いのではないのでしょうか。本書には、犬の介護に関する初歩的なことから、さまざまなサポート法まで、分かりやすく書かれています。いつも一緒に過ごす飼い主だからこそ、してあげられることがあるという著者。犬を飼っている人にはもちろん、これから飼おうと思っている人にもお薦めの1冊です。

## ふるさと見聞録

写真・文  
みどりの課 村上 直輝

### 歴史的な公園 「中島公園」



公園中央にある依田勉三翁の銅像

昭和17年に市内で2番目に開設された「中島公園」。帯広発祥の地と言われる帯広神社の南側に位置するこの場所には、十勝・帯広の開拓の先人である依田勉三翁の、みの笠姿の銅像があります。依田勉三翁の功績を後世に伝えようと、当時の十勝商工連合会頭の中島武市氏を中心に5年の歳月を経て造られました。食糧に対して敬意を払う象徴として、中島氏の強い思いにより、依田勉三翁がみの笠を羽織った農民姿のものになったと伝えられています。

中島公園は規模が小さく、遊具などの施設はありませんが、幹線国道38号沿いにも関わらず、静かで落ち着いた雰囲気の特徴です。避暑を兼ねて中島公園を訪れてみてください。先人の思いを感じることができるといっても過言ではありません。

知っていますか？ 建退共制度

建設業の事業主が、建設現場の労働者の働いた日数に応じた掛け金（月額310円）を支払い、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共が退職金を支払うという退職金制度です。

詳細は問い合わせください。  
問い合わせ 勤労者退職金共済機構 建退共北海道支部（☎011・261・6186）

市民団体協働の川づくり事業 参加団体募集

北海道が管理に必要な河川敷地で、草刈りなどを協力してくれる川沿いの町内会や河川愛護団体などを募集しています。実施した面積に応じて費用を支払います。

問い合わせ 帯広建設管理部事業課 施設保全室（☎26・9222）

アイヌの人々のための専用フリーダイヤルを利用してください

アイヌの皆さんへの嫌がらせや差別など、困り事を何でも相談してください。

☎0120・771・208

日時 月～金曜日（年末年始、祝日を除く）、9時～17時

問い合わせ 人権教育啓発推進センター（☎03・5777・1802）

星槎国際高等学校 帯広キャンパスからのお知らせ

問い合わせ 星槎帯広キャンパス（☎22・30030）

◆星槎祭「街なか」にぎわいまつり

生徒たちが、ライブアクトやダンスなどを披露します。

日時 9月10日（土）、11時～15時

場所 夢の北広場（西2南11）

◆オープンスクール

高校進学に向けて、保護者や小・中学生などを対象に学校紹介

や体験授業を行います。

日時 9月17日（土）、13時～15時  
場所・申し込み前日までに、電話で星槎帯広キャンパス（西5南10）へ。

家族介護教室 「車椅子の使い方・座り方」

生活を送る上で実用的な方法を学びます。

対象 在宅で介護をしているまたは予定している家族  
日時 9月30日（金）、10時30分～11時30分

定員 先着10人程度

場所・申し込み・問い合わせ 前日までに、電話で帯広光南病院・早坂（空港南町303、☎47・4811）へ。

福祉マンパワー活用講習会

福祉職場でも活用できる介護のケアとレクリエーションを2部構成で学びます。

対象 福祉職場に関心のある人

日時 9月22日（祝）、1部10時～12時、2部13時～15時

定員 先着20人

場所・申し込み・問い合わせ 9月20日（火）までに、電話で社会福祉協議会・人材バンク（公園東町3、グリーンプラザ内、☎27・2525）へ。

無料調停相談会

金銭、交通事故、土地建物、夫婦・親子関係、相続などの問題について、話し合いで解決する調停の手続きなどの相談に応じます。

日時 10月2日（日）、10時～16時

場所 とかちプラザ（西4南13）

問い合わせ 釧路地方・家庭裁判所 帯広支部内帯広調停協会（☎23・5141）

動物園のいまをお届け



▷問 動物園（緑ヶ丘2、☎24・2437）飼育担当 西山 葵

日なたぼっこが大好きな女の子「カフェ」

おびひろ動物園には5頭のヤギがいます。メス3頭のうち最も女の子らしいのが「カフェ」です。

痛いことや怖いことが大嫌い。爪を切ろうとする飼育員や、痛いことをするかもしれない獣医が近づいてくると、耳をピンと立てて警戒モード。一定の距離を保ち、絶対に近づこうとはしません。こうなると捕まえるのも一苦労です。



ごはんの横取りは許さないわよ

- ★ヤギ（雑種）
- 出生地：更別村
- 生年月日：平成23年1月18日
- 性格：怖がり
- 好きな食べ物：配合飼料

日なたぼっこはヤギたちの中で一番好きで、リラックスしているときは足を投げ出して、本当に気持ち良さそうにくつろいでいます。たまに暑さで倒れてしまったのではないかと心配になる事もあるほどです。また、食欲旺盛で、ちょっと油断するとぼっちらりと太りやすいです。食べ物で怒らせたなら怖いのも女の子らしい特徴でしょう。自分のごはんを横取りされそうになると、年上のヤギにもドーンと頭突きをお見舞いします。

そんなカフェと触れ合い体験ができる「ちびっこふあーむ」。怖がらせないように優しく触ってあげてくださいね。

森の交流館・十勝から国際交流の様子などを紹介します



Hello there! ~帯広のなかのセカイ~

▷問 森の交流館・十勝（西20南6、☎34・0122）

Olá pessoal!（皆さん、こんにちは！）ブラジル出身の国際交流員、成田カレンです。今回はブラジルの「リフレッシュウイーク」を紹介します。

ブラジルの学校では9月に試験があって学生たちは大忙しです。11月には大学入試があるので、高校生はピリピリしています。そんな状況を解消するためか、ブラジルには10月に「リフレッシュウイーク」（大型連休）があります。日本でいうシルバーウイークのような感じです。高校3年生はこの休みを使って卒業旅行に行ったり、大学入試模試などを受けます。他にも、2月には日本のゴールデンウイークに当たる「カーニバルウイーク」があります。

10月の連休中はビーチや観光地が混み合いますので、ブラジルを旅行するならリフレッシュウイークを避けて計画すると良いかもしれません。

休日で混み合うバスターミナル（サンパウロ市）



成田 カレンさん



※もっと詳しく知りたい人は、「帯広市国際交流員ブログ」  
(<https://obihirocir.wordpress.com/>)  
をご覧ください。

QRコードで簡単アクセス▶



ワンポイント手話講座



▷問 障害福祉課（市庁舎1階、☎65・4147）

手指や体の動き、表情を使って意思疎通を図る「手話」。このコーナーでは簡単ですがすぐに使える一言を紹介します。



今月の手話「よろしくお願ひします」

右手こぶしを鼻から前に出したあと、右手で拝む。気持ちを込めて、表情も加えましょう。

動作の由来…「よい」という意味の手話と、願ひする様子

イラスト出典：石狩市「手話でつながるいしかり」

情報 **ピックアップ**

**火災を早く知る  
住宅用火災警報器**

**問い合わせ** とかち広域消防局予防課（消防局庁舎3階、☎26・9124）

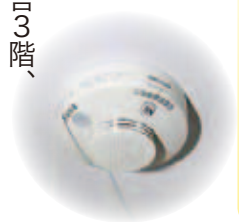
住宅用火災警報器は、煙や熱を感知して、音や音声で火災の発生を知らせる機器です。全ての住宅に設置が義務付けられています。

**市内の設置住宅での死者はゼロ**

帯広市では、住宅用火災警報器の設置が義務になった平成20年から、住宅用火災警報器を設置した住宅での火災で死者は出ていません。負傷者数も、設置していない住宅での火災に比べておよそ3分の1で、その効果は歴然です。

**被害を最小限にできる**

火災は予防することが大切ですが、万が一起きてしまった場合には、拡大させないことが重要です。ガステーブルに鍋をかけたことを忘れ、警報音で気付き、火災に



なる前に火を消すことができた事例など、住宅用火災警報器は、「早い発見」「早い避難」「早い消火」にとっても有効で、火災による被害を最小限にできます。

寝室（2階に寝室がある家は階段も）への設置は必須です。設置していない住宅は、すぐに取り付けてください。

**1カ月に1度は点検を**



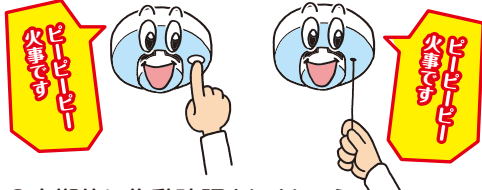
住宅用火災警報器の多くは電池式です。古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、煙や熱を感じなくなる場合があります。

1カ月に1度は、ボタンを押したり、ひもを引いて作動確認を行います（図）。また、10年を目安に機器を交換しましょう。

**図 住宅用火災警報器の点検方法**

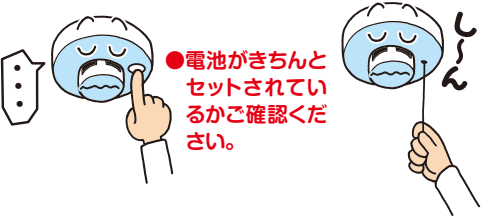
**定期的に作動確認し、音を聞きましょう!**

●ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。



- 定期的に作動確認をしましょう。
- 定期的に家族で火災時の警報音を聞いてみましょう。

**音が鳴らない場合は?**



- それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。

**オビヒロ カメラレポ Obihiro Camera Report**



**昼間とは一味違う雰囲気動物園を満喫**

夏の3日間限定で、開園時間を21時まで延長する「よるの動物園」。ライトアップされた遊具や夜の動物の姿を楽しむ家族連れなどがたくさん訪れました。

飼育員によるスポットガイドでは、動物の興味深い生態や自然界での現状を紹介していました。いつもは眠っている時間だというチンパンジーが、来園者を迎えるために起きていたり、夜行性の動物だけでなく、普段は見られない動物たちの表情に出会うことができました。（7月29日～31日、動物園）



幻想的に照らされた遊具



**きらきらパペットシアター**

人形劇団「でく」のパネルシアターと、人形劇一座「パセリ座」の人形劇が上演され、30年以上活動を続ける両劇団の演技に、親子連れなど約30人は物語に引き込まれるように見入っていました。児童会館では毎月、十勝人形劇協議会による人形劇などを上演しています。誰でも無料で観覧できるので、ぜひ立ち寄ってください。（7月16日、児童会館）

**帯広の水を見る週間**



帯広市の上下水道について知ってもらおうと毎年開催しているパネル展。今年は、緊急貯水槽から水をくみ上げる手押しポンプを展示し、災害時の対応を紹介した他、水道水のペットボトル「おびひろ極上水」を試飲した感想や、マンホールの表面をデザインした「カラーマンホールふた」の設置についてアンケートを行いました。（7月25日～29日、市庁舎市民ホール）

**市政のお知らせを放送しています**

- ◆ラジオ（毎週月・水・金曜日）おびひろタウンインフォメーション (FM-JAGA77.8MHz) 9:15～9:20 おびひろ広報メモ (FM-WING76.1MHz) 9:30～9:35
- ◆テレビ 市役所だより (OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからご覧になれます。

**広報おびひろの感想を聞かせてください**

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。問広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4109、F23・0156、✉report@city.obihiro.hokkaido.jp）

広告